



成果指標				
成果指標	老人クラブへの加入率(会員数/60歳以上人口)を39.5%とする。			
指標設定の考え方	加入率の全国平均を目標とした。高齢者人口が増加しているにもかかわらず老人クラブ加入率は減少傾向にある。生活様式や趣味の多様化等による影響、若手会員の減少による活動組織の弱体化、老人クラブに対する社会の理解不足などを克服し会員数を増加させることは、将来的な自主運営や社会扶助の増進につながることを考える。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	39.5%	39.5%	0	0
実績	22.8%	22.4%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	老人クラブは任意の団体であり、自主的な活動を求められる一方で、その活動が介護予防にも一定の効果をもたらすものであることから、補助を行っているものである。しかし、全国的に会員数が減少傾向にあり、本市の老人クラブ会員数も同様に減少していることから、会員獲得に向けた取り組みを支援する必要があると認識している。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	老人クラブは本来任意の団体であり、魅力的な活動に努めることと自主運営の努力を希望する。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題